

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	リハビリテーション治療を実施した脳腫瘍患者の健康関連 QOL の変化
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2016 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日の間に新潟大学医歯学総合病院脳神経外科で脳腫瘍に対する治療を受け、なおかつリハビリテーション治療を受けた患者さんが対象になります。 また、上記には、申請番号 2015-2500、「リハビリテーション介入患者の QOL 調査」に参加された患者さんも含まれます。（研究責任者：木村 慎二）
③ 概要	リハビリテーション医療では、これまで治療の効果をみる指標として、主に運動機能、認知機能、日常生活動作が用いられてきました。しかし、近年、生活の質（QOL）に注目が集まっています。しかし、わが国では、脳腫瘍患者さんの QOL に関するデータの蓄積が少なく、リハビリテーション治療の効果は、十分に検証されていません。本研究は、リハビリテーション開始時と終了時に、QOL、運動機能、認知機能、日常生活活動を調査します。
④ 申請番号	2020-0380
⑤ 研究の目的・意義	脳腫瘍患者さんのリハビリテーション前後で、QOL を調査し、身体機能と日常生活活動との関連性を明らかにすること。これにより、入院中の効果的なリハビリテーション治療を検討することができる。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	以前の研究の際に取得した、QOL アンケート内容、電子カルテ内の病歴、リハビリテーション評価結果を使用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	QOL アンケート内容、病歴（病名、性別、生年月、診療記録）、リハビリテーション評価（運動機能、認知機能、日常生活活動）
⑨ 利用の範囲	新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター 新潟大学医歯学総合病院 脳神経外科
⑩ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター 准教授 木村 慎二
⑪ お問い合わせ先	所属：新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター 氏名：木村 慎二

	Tel : 025-223-2742 E-mail : skimura@med.niigata-u.ac.jp
--	--